

みずほCustomer Desk Report 2017/02/28 号(As of 2017/02/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.16 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.20	1.0553	118.40	1.0090	1.2400	0.7668
SYD-NY High	112.84	1.0631	119.45	1.0098	1.2503	0.7708
SYD-NY Low	111.92	1.0552	118.26	1.0046	1.2384	0.7662
NY 5:00 PM	112.74	1.0587	119.32	1.0091	1.2442	0.7672
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.105/10.505		△25RR	0.260	Yen Call Over	
NY DOW	20,837.44	15.68	債券市場	日本2年債	-0.2650	▲1.0bp
NASDAQ	5,861.90	16.59		日本10年債	0.0540	▲1.4bp
S&P	2,369.75	2.41		米国2年債	1.1944	5.2bp
日経平均	19,107.47	▲176.07		米国5年債	1.8651	6.1bp
TOPIX	1,534.00	▲16.14		米国10年債	2.3650	5.3bp
シカゴ日経先物	19,205	35.00		独10年債	0.1980	1.2bp
ロンドンFT	7,253.00	9.30		英10年債	1.1500	7.2bp
DAX	11,822.67	18.64		豪10年債	2.7110	▲1.9bp
ハンセン指数	23,925.05	▲40.65		USD/CNH	6.8619	0.0074
上海総合	3,228.66	▲24.77		ドルインデックス	101.13	0.04
USDJPY 3M Vol	11.36	▲0.09%	為替市況	CRB指数	189.881	▲1.05
USDJPY 6M Vol	10.89	▲0.06%		NY金	1,258.80	0.50
EURJPY 3M Vol	14.58	0.27%		WTI	54.05	0.06
EURJPY 6M Vol	13.01	0.06%		Dubai Spot	54.77	0.43
			商品市況			

東京	週明けのドル円相場は朝方に一時112.39をつけるもすぐに反落に転じ112.20レベルで東京時間オープン。日経平均株価が前営業日比マイナスで寄り付いた後下落幅を拡大させる展開となると2/9以来の水準となる一時111.92まで下落。しかし、先週金曜日の海外時間同様に111円台では相応の押し目買い意欲が見られ112円台を回復。その後は28日にトランプ米大統領の議会演説を控えて様子見ムードが強まると、ドル円は方向感に欠けるもみ合い推移が続き112.16レベルで海外へ渡った。また、「スコットランド政府が英国からの独立を問う国民投票を3月に表明する可能性を想定しメイ英首相のチームが準備」との一部報道を受けて朝方にポンドが急落。対ドルで1.24台後半から一時1.2392まで売り込まれたが、報道は先週にも報じられていた内容だったこともありその後は下げ止まり1.2400レベルで東京時間オープン。狭いレンジ内でのみみ合い推移が続き結局1.2421レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は動意薄。112.16レベルでオープン。翌日のトランプ米大統領演説を控え終始112円台前半での様子見となり、112.28レベルにてニューヨークへ渡った。ポンドは1.2421レベルでオープン。アジア時間の流れを受けポンドは一時売られ安値1.2384を付けた。しかし、スコットランドの独立の是非を問う2度目の国民投票実施のニュースは先週後半に出ていたことや「スコットランドの住民投票、実施すべきでない」との政府報道官の発言、そしてポジション調整の買戻しにサポートされ、結局1.2410レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外時間のドル円は112台前半での狭い範囲での推移となり、112.28レベルでNYオープン。朝方発表された米1月耐久財受注(前月比)が予想を上回ると112.49まで上昇。しかし前回値が下方修正されたことや、機械関連設備投資の先行指標となる米1月製造業受注・資本財(非国防/除航空機)が予想を下回り、4ヶ月ぶりに減少したこと等から反落。その後発表された米1月中古住宅販売契約(前月比)も予想を下回ったことでドル売りが強まり、ドル円は111.94まで下落。しかし111円台ではドル買い意欲も強く、安く寄り付いた米株がプラスに転じたことや、カプラン・ダラス連銀総裁(FOMC投票権あり)から「早めの利上げが理想的(We should move sooner rather than later)」と早期利上げ期待を煽る発言があったことから、今週金曜日に控えるインフレFRB議長やフィッシャーFRB副議長の講演への期待感も高まり、米金利上昇とともにドル円は一時112.84まで上昇。その後は翌日にトランプ大統領の議会演説を控えていることもあり、112.80を挟んだ小幅な推移が続き、112.74レベルでクロスした。なお、行政予算局(OMB)のマルバニー局長が米ホワイトハウスの会見で3月16日に予算教書を議会に提示すると明らかにした。一方ユーロは1.0580レベルでNYオープン。朝方は弱い米経済指標を受けてドル売りが強まり、ユーロは一時1.0629まで上昇。しかし1.06台では上値重く推移し、その後、カプラン・ダラス連銀総裁の発言を受けてドルが買い戻されると1.0582まで値を戻し、1.0587レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 大熊・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月27日	19:00	欧 消費者信頼感・確報値	2月 -6.2	-6.2
	22:30	米 耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)・速報値	1月 1.8%/+0.2%	1.6%/0.5%
2月28日	0:00	米 中古住宅販売仮契約	1月 -2.8%	0.6%

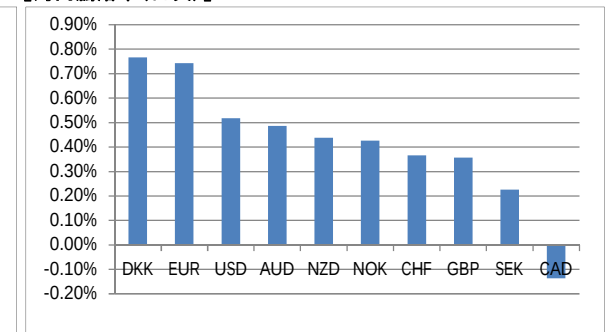
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月28日	8:50	日 鉱工業生産・速報値(前月比/前年比)	1月 0.4%/4.3%	0.7%/3.2%
	22:30	米 GDP・改定値(年率/前期比)	4Q 2.1%	2.1%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)	1月 0.4%	1.0%
3月1日	0:00	米 消費者信頼感	2月 111.0	111.8
	5:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-
	5:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-
	11:00	米 トランプ大統領議会演説	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.20-113.20	1.0520-1.0650	118.80-119.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は堅調な展開となった。カプラン・ダラス連銀総裁のタカ派的な発言を受けて、FRBによる早期利上げ観測が高まり、112.84円まで上昇した。本日はレンジ内での値動きを予想する。月末要因による相当数の実需のフローは見込まれるものの、トランプ大統領による議会演説(東京時間3月1日午前11時)を控える状況下では動きづらく、明確な方向感には出にくいと思われる。